

第4次桐生市地域福祉計画
第4次桐生市地域福祉活動計画
(令和7年度～令和11年度)

進捗状況評価

第4次桐生市地域福祉計画 進捗状況評価

※「評価」欄については、前年度の比較ではなく当該年度の事業（おもな取組）の進捗率について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

A : 80% ~ 100%

B : 60 ~ 80%

C : 40 ~ 60%

D : 20~40%

E : 0 ~ 20%

基本目標I

安心・安全の地域づくり

取組の方向性	No	取組	取組内容	該当ページ	担当課	事業の成果を表す 主な指標	年度	目標値	実績値	桐生市	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
適切な福祉情報の提供	1-1	① 福祉情報提供の充実	「広報きりゅう」、ホームページ及びSNSを活用し、市民に広く福祉サービス情報を発信・提供します。	48	地域福祉課	広報きりゅう掲載回数	R7	90	52	評価	C				
							R8	90	総評	地域福祉課からのお知らせの広報きりゅうへの掲載回数は52回であった。民生委員や献血等の情報発信し、市民が福祉サービスを活用することができたが、さらに利用しやすくてきる発信内容が必要。					
							R9	90							
							R10	90							
			単位：回	R11	90										
			媒体や周知方法を工夫した福祉情報の提供に努め、若い世代への情報発信の強化として、SNS等を活用し、多様な手段で必要な情報を発信します。	48	地域福祉課	ふれあいメール配信回数	R7	13	11	評価	B				
							R8	14	総評	地域福祉課からのお知らせのふれあいメールへの掲載回数は11回であった。忠霊塔参拝式や献血等の情報発信ができたが、他部署との調整の必要性も見えてきた。					
							R9	15							
							R10	15							
			単位：回	R11	15										
			各事業のパンフレット等に社会福祉協議会や地域包括支援センター等の相談窓口を掲載し、住民に相談窓口の周知を行います。	48	長寿介護課	毎年度、介護保険パンフレット及び在宅高齢者福祉ガイドを発行	R7	実施	実施	評価	A				
							R8	実施	総評	介護保険パンフレット及び在宅高齢者福祉ガイドを発行した結果、実施事業について周知することができた。					
	R9	実施													
	R10	実施													
	単位：実施、未実施	R11	実施												
② 計画の周知	第4次計画を、公民館等市有施設に配置し、計画書の周知を行います。	48	地域福祉課	市有施設への配布	R7	実施	実施	評価	B						
					R8	実施	総評	第4次計画を公民館等の市有施設に設置した。その結果、地域福祉計画を市民に周知でき、市の福祉行政の進め方を理解していただいた。さらに設置場所の検討をしたい。							
					R9	実施									
					R10	実施									
	単位：実施、未実施	R11	実施												
	毎年度、推進委員会において進捗状況を評価し、その結果を市ホームページにて公表します。	48	地域福祉課	ホームページにおける計画ページの閲覧数	R7	250	236	評価	A						
R8					250	総評	作成の年ということもあり、アクセス数は大きく、計画への理解と市の福祉行政の進め方を理解していただいた。								
R9					250										
R10					250										
単位：回	R11	250													
1-2	① 相談支援拠点の整備	高齢者、障がい者、子育て世帯など各相談者に合わせた相談支援体制の充実を図り、複合課題に対しては、庁内の分野横断的な連携を図ります。	50	長寿介護課	年間相談件数	R7	28500	29,218	評価	A					
						R8	28500	総評	権利擁護の課題を抱える高齢者や家族関係が複雑化している家庭を関係機関と連携して支援した。関係機関との連携しやすい関係性の構築が進んだ。						
						R9	28500								
						R10	28500								
						単位：件	R11			28500					
			50	子育て相談課	家庭児童相談件数	R7	1100	1,087		評価	A				
						R8	1100	総評	こども家庭センターにおいてすべての妊産婦・子育て世帯・こどもに対し、母子保健、児童福祉の両分野から包括的に切れ目ない支援を行うことができた。関係機関との協働し支援し、さらに必要に応じて重層支援会議等で支援の方向性を検討した。						
						R9	1100								
						R10	1100								
						単位：件	R11			1100					

第4次桐生市地域福祉計画 進捗状況評価

※「評価」欄については、前年度の比較ではなく当該年度の事業（おもな取組）の進捗率について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

A : 80% ~ 100%

B : 60~80%

C : 40 ~ 60%

D : 20~40%

E : 0 ~ 20%

取組の方向性	No	取組	取組内容	該当ページ	担当課	事業の成果を表す 主な指標	年度	目標値	実績値	桐生市	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
福祉サービスの整備・充実			「断らない相談」を目指し、他分野との連携を図り、各地域において多様な相談を受け止める体制を整備します。	50	地域福祉課	重層的支援体制整備事業における支援会議の開催回数	R7	10	8	評価	B				
							R8	11	総評	高齢、子育て、障がい、困窮、社会福祉協議会と、それぞれの分野のコーディネータが集まり支援会議を開催し、情報交換、対応策等の重層支援体制が進んだ。					
							R9	12							
							R10	13							
							単位：回	R11			14				
			分野ごとの相談体制を強化します。 ・在宅医療介護連携センターきりゅうの機能強化 ・認知症初期集中支援チームの機能強化 ・認知症地域支援推進員の活動推進	50	長寿介護課	認知症初期集中支援チーム介入件数	R7	7	7	評価	A				
							R8	7	総評	地域包括支援センターと連携し、認知症初期の対象者とその家族の支援を実施することができた。					
							R9	7							
							R10	7							
							単位：件	R11			7				
			分野ごとの相談体制を強化します。 ・桐生市障害者基幹型相談室の運営	50	障がい福祉課	障害に関する総合相談の実施件数	R7	4300	4500	評価	A				
							R8		総評	障害者相談支援専門員が福祉サービス、生活、不安の解消など総合的な相談を実施することができた。					
							R9								
							R10								
							単位：件	R11							
			分野ごとの相談体制を強化します。 ・こども家庭センターの設置 ・地域子育て相談機関の設置 ・子どもすこやかホットラインの開設 等	50	子育て相談課	地域子育て相談機関での相談件数	R7	1100	1127	評価	A				
	R8	1100					総評	こども家庭センター内の子育て支援センター及び市内10ヶ所の地域子育て支援拠点に地域子育て相談機関を設置し、地域住民の子育てに関する相談に応じた。							
	R9	1100													
	R10	1100													
	単位：件	R11							1100						
② 住民ニーズに合わせた 基盤整備		住民ニーズに合わせた 基盤整備	社会情勢、国や県の動向を踏まえ、各福祉行政計画に基づき、福祉サービス及び公共施設のさらなる整備・拡充を図ります。	51	子育て支援課	利用希望の児童	R7	1985	1282	評価	A				
							R8	2061	総評	利用を希望する児童が全員各クラブに入所して、保育の提供を受けることができた。					
							R9	2061							
							R10	2061							
							単位：数	R11			2061				
				51	子育て相談課	年間利用者数	R7	16000	15360	評価	A				
							R8	16000	総評	子育て世代の子どもの遊び場へのニーズに応え、天候に左右されることなく親子が集える遊び場を提供し、こども家庭センターの一部として、子どもを遊ばせながら相談もできる体制を整えた。					
							R9	16000							
							R10	16000							
							単位：人	R11			16000				
				51	新里支所 市民生活課	親子の触れ合いの場として開放している児童・子育て室の利用人数	R7	3,000	3,901	評価	A				
							R8	4,000	総評	目標値を超え、利用人数は増加。図書館とのイベント連携や主任児童委員及び母子保健推進委員等各団体の積極的な取組みもあり、親子の触れ合いの場を活気づけることができた。					
							R9	4,500							
							R10	5,000							
単位：人	R11	5,500													
51	黒保根支所 市民生活課	指定管理者制度導入施設（つつじの家管理事業）の管理運営状況等に係るモニタリングガイドラインによるモニタリング	R7			評価	A								
			R8		総評	R7が中間評価の年度にあたるため11月に管理運営評価委員会を開催し、適切な運営がなされているとの評価を得られた。									
			R9												
			R10												
			R11												

取組の方向性	No	取組	取組内容	該当ページ	担当課	事業の成果を表す主な指標	年度	目標値	実績値	桐生市	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
災害福祉協力体制の強化			災害時の連携に向け、避難行動要支援者名簿の配備先について検討します。	53	地域福祉課	災害時避難支援関係者及び関係団体への配布先検討回数	R7	1	1	評価	B				
							R8	1		総評	昨年度同様に、自治会、民生委員・児童委員、消防、消防団、警察、桐生市社会福祉協議会、包括支援センター、社会福祉法人・社会福祉施設連絡会など、公共機関、市内団体へ名簿を配布した。他に必要団体がないか検討したい。				
							R9	1							
							R10	1							
			自治会、民生委員・児童委員、消防、警察等に避難行動要支援者名簿を配備することで、要支援者の確認に活用します。	53	地域福祉課	名簿配布回数	R7	1	1	評価	B				
							R8	1		総評	昨年度同様に、自治会、民生委員・児童委員、消防、消防団、警察、桐生市社会福祉協議会、包括支援センター、社会福祉法人・社会福祉施設連絡会などへ名簿を配備し、災害時など活用できるようにした。他に必要団体がないか検討したい。				
							R9	1							
							R10	1							
							R11	1							
			避難行動要支援者の一人一人の状況に合わせた個別避難計画の作成を進めます。また、その作成方法については、関係部署と協議を行いながら災害時に迅速に活用できるよう体制整備を図ります。	53	地域福祉課	個別避難計画作成した全体の割合	R7	0	0	評価	E				
							R8	5		総評	優先度の高い要支援者について、計画を1件作成した。来年度より計画作成業務委託の実施を行い、支援者個別計画の作成を行う。				
							R9	10							
							R10	15							
	②	災害時の体制づくりと連携強化	社会福祉協議会、地域包括支援センター、民生委員・児童委員、自治会、消防団、地域の見守り活動団体などと連携しながら、高齢者や障がい者等の特に支援が必要な方を中心に、日頃から見守りを行います。	54	防災・危機管理課	地域との体制整備	R7			評価	C				
							R8			総評	自主防災組織や自治会に対して、防災に関する出前講座や避難訓練の際に、高齢者等の災害時の支援について、地域ぐるみで活動できる体制を啓発している。令和7年度中に、出前講座は22件行った。また、地域住民（自主防災組織や自治会）が自主的に開設し運営する地域避難施設登録制度を継続して活用し、多様化する避難施設のニーズ（指定避難所までは遠いのもう少し近いところに避難したい・身近な避難所で気心の知れたもの同士が避難生活を送ることができれば精神的にも肉体的にも負担が少ない等）に対応した。				
							R9								
							R10								
							R11								
							R7	63	63	評価	A				
					防災危機管理課	福祉避難所の設置数	R8	63		総評	福祉避難所の設置希望者は、常に受け付けている。令和7年度は63か所から変更なし。				
							R9	63							
							R10	63							
							R11	63							
						単位：か所	R11	63							

取組の方向性	No	取組	取組内容	該当ページ	担当課	事業の成果を表す主な指標	年度	目標値	実績値	桐生市	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
			日本赤十字社と連携し、炊き出し訓練や各種講習会の実施、災害義援金の受付等を実施します。	54	地域福祉課	日赤群馬県支部と連携し、災害発生時には関係各所と情報共有し迅速に対応していく。	R7			評価	A				
							R8				総評				
							R9								
							R10								
							R11								
			火災や災害時の対応について、各部署との連携を図り、体制整備を図ります。	54	防災・危機管理課	火災や災害時の体制整備	R7			評価	C				
							R8				総評				
							R9								
							R10								
							R11								

※目標値・実績値は数値化が可能なもののみ。

取組の方向性	No	取組	取組内容	該当ページ	担当課	事業の成果を表す 主な指標	年度	目標値	実績値	桐生市	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
地域における 権利擁護の推進	2-1	①	体制整備・ 情報発信	56	長寿介護課 (障がい福祉係)	地域連携ネットワーク会議の回数	R7	2	3	評価	A				
							R8	2		総評	2回の定期開催、1回の臨時開催の他に、説明会&個別相談会を実施した。制度に関する周知や関係機関との連携の仕組みの構築を行ったことで、制度を必要とする市民の適切かつ円滑な利用を促進した。				
							R9	2							
						単位：回	R10	2							
		②	成年後見制度の 利用促進	56	長寿介護課 (障がい福祉係)	市長申立の件数	R7	6	7(2)	評価	A				
							R8	6		総評	要綱改正により、申立費用や報酬の助成金の対象者の拡大・明確化を図った。制度の利用が必要な対象者にとって利用しやすい環境づくりをし、利用促進を行うことで権利擁護を推進した。				
							R9	6							
							R10	6							
						単位：件	R11	6							
				56	障がい福祉課	窓口や出前講座、相談支援専門員により、障害者や家族に対して制度の周知を行う。	R7	実施	実施	評価	B				
							R8			総評	窓口や、相談支援専門員により、障害者や家族に対して制度の周知を行った。また、中核機関にて関係機関と情報交換を行った。一般市民向けの研修会や相談会も行った。				
							R9								
						単位：実施、未実施	R10								
住み慣れた地域での生活の充実	2-2	①	地域における必要な 情報の提供	58	長寿介護課	地域ケア会議の回数	R7	62	79	評価	A				
							R8	62		総評	関係機関と協力し、地域における情報交換の場の提供をすることができた。定期的な開催により地域課題の意見を交換したり、必要時の開催により支援を必要とする市民の情報共有や支援の検討を行った。				
							R9	62							
							R10	62							
						単位：回	R11	62							
				58	長寿介護課	毎年度、ひとり暮らし高齢者基礎調査を実施	R7	実施	実施	評価	A				
							R8	実施		総評	ひとり暮らし高齢者基礎調査を実施し、地区民生委員協議会や地域ケア会議の出席もすることで、関係機関と連携し支援を必要とする市民を把握し、有事の際には互いに情報提供を行った。				
							R9	実施							
							R10	実施							
				58	地域福祉課	桐生市民生委員児童委員協議会定例会への出席	毎年度、ひとり暮らし高齢者基礎調査を実施	R7	実施	実施	評価	A			
								R8	12		総評	毎月の定例会に出席し、各会長の事例検討を通じて地域の実情を把握し、地域福祉課での課題等に対応した。定例会では忌憚のない意見等がいただけるよう努めていきたい。			
								R9	12						
								R10	12						
				58	地域福祉課	5月の民生委員・児童委員活動強化週間の周知	R7	実施	実施	評価	B				
							R8	実施		総評	広報きりゅう5月号で民生委員・児童委員の役割を市民に周知し、見守りなどの活動を理解していただき、支援体制を強化することができた。活動等の問合せも増えている。				
							R9	実施							
							R10	実施							
				58	地域福祉課	5月の民生委員・児童委員活動強化週間の周知	R7	実施	実施	評価	B				
							R8	実施		総評	広報きりゅう5月号で民生委員・児童委員の役割を市民に周知し、見守りなどの活動を理解していただき、支援体制を強化することができた。活動等の問合せも増えている。				
							R9	実施							
							R10	実施							
				58	地域福祉課	5月の民生委員・児童委員活動強化週間の周知	R7	実施	実施	評価	B				
							R8	実施		総評	広報きりゅう5月号で民生委員・児童委員の役割を市民に周知し、見守りなどの活動を理解していただき、支援体制を強化することができた。活動等の問合せも増えている。				
							R9	実施							
							R10	実施							

第4次桐生市地域福祉計画 進捗状況評価

基本目標 2

支え合いの仕組みづくり

※「評価」欄については、前年度の比較ではなく当該年度の事業（おもな取組）の進捗率について、下記基準によりA～Eの記号を記載してください。

A : 80% ~ 100%

B : 60~80%

C : 40 ~ 60%

D : 20 ~ 40%

E : 0 ~ 20%

取組の方向性	No	取組	取組内容	該当ページ	担当課	事業の成果を表す 主な指標	年度	目標値	実績値	桐生市	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
の生活の 充実			複合的な問題を抱えている人に対し、分野を越えて総合的に相談に応じることができるよう、関係機関と連携し、重層的支援体制整備事業における包括的相談支援体制の整備を図ります。	58	地域福祉課	重層的支援体制整備事業における支援会議の開催回数（重複）	R7	10	8	評価	B 高齢、子育て、障がい、困窮、社会福祉協議会と、それぞれの分野のコーディネータが集まり支援会議を開催し、情報交換、対応策等の重層支援体制が進んだ。					
	R8	11						総評								
	R9	12														
	R10	13														
	単位：回	R11					14									
	③	活動拠点施設の整備・活用	長寿センター等について、高齢者の憩いの場としての活用だけでなく、地域の介護予防の拠点として活用するなど、市民やボランティア、社会福祉協議会等と協力しながら、多角的活用を図ります。	59	長寿介護課	元気おりおり体操への延べ参加者数（長寿センター実施分のみ）	R7	1000	1550	評価	A 介護予防サポーターが中心となり、長寿センターにて定期的に体操を実施。					
							R8	1000		総評						
							R9	1000								
							R10	1000								
							単位：人	R11	1000							
		各福祉関係施設において、地域交流スペースの設置や、認知症カフェの実施などの支援を行い、地域の拠点づくりを推進します。	59	長寿介護課	オレンジカフェの設置数	R7	12	12	評価	B 認知症地域支援推進員が中心となり、活動支援を行った。コロナ禍以降、活動を本格的に再開しているカフェが少なく、状況の確認や課題の整理が必要。						
						R8	12		総評							
						R9	12									
						R10	12									
						単位：設置数	R11	12								
		子ども食堂や学習支援活動の支援を継続するとともに、広く事業の周知を行い、世代を超えた交流の場、居場所づくりについての取組を推進します。	59	子育て相談課	子ども食堂の実施箇所数	R7	5	4	評価	A 様々な家庭の事情により放課後や休日等をひとりで過ごす子どもたちに対し、家庭に代わって地域の力で安心して過ごせる居場所づくりの取組を推進した。						
						R8	5		総評							
						R9	5									
						R10	5									
						単位：箇所	R11	5								
2-3 健康・介護予防の推進	①	健康づくり・介護予防の普及啓発	健康づくりを推進するため、健康に関する知識の普及や、各種検診等の実施及び保健指導の充実を図り、ライフコース、年代や性別などの属性に合わせた事業を実施します。	61	健康地域医療課	健康教育事業への延べ参加者数	R7	2400	2438	評価	A けんこう塾、食事で健康教室、けんこうクッキング、出前講座などの実施により、健康に関する知識の普及や検診の受診勧奨などを実施した。					
							R8	2400		総評						
							R9	2400								
							R10	2400								
							単位：人	R11	2400							
				長寿センターや各公民館等を拠点に、住民主体により実施されている「元気おりおり体操（桐生市オリジナル介護予防体操）」の普及活動を促進します。	61	長寿介護課	元気おりおり体操への延べ参加者数（長寿センター＋出前講座）	R7	1200	2008	評価	A 介護予防サポーターが中心となり、長寿センターにて定期的に体操を実施。また、高齢者大学での出前講座を実施したため、参加者数が増加した。				
								R8	1200		総評					
								R9	1200							
								R10	1200							
								単位：人	R11	1200						
2-4 地域全体による	①	住民相互の交流支援	住民がともに支え合い、地域での生活が充実できるよう、住民相互の交流を支援するため地域の福祉関係団体・機関と連携します。	63	地域福祉課	社会福祉協議会と連携を図る	R7			評価	C 重層的支援体制整備事業の本格実施に向け、地域づくりを社会福祉協議会と検討する中で、同協議会や各分野の専門機関と連携し、支援を進めていくことが確認された。					
							R8			総評						
							R9									
							R10									
								R11								
				犯罪や非行をした人が、地域において立ち直りが出来るよう関係団体と連携し、再犯防止を推進します。	63	地域福祉課	毎年7月の強調月間に市民大会を開催し、啓発活動等を保護司会や更生保護女性会など関係団体と協力し再犯防止を推進する。	R7			評価	B 7月の強調月間にあわせ、第75回「桐生市社会を明るくする運動」市民大会を開催、また保護司会及び更生保護女性会と合同で街頭啓発活動を2回実施したことにより警察や2団体とともに再犯防止の活動を推進できた。警察や2団体とともにさらなる呼びかけも必要。				
								R8			総評					
								R9								
								R10								
									R11							

取組の方向性	No	取組	取組内容	該当ページ	担当課	事業の成果を表す主な指標	年度	目標値	実績値	桐生市	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
ネットワーク化の推進			地域において孤立した人を作らないよう、福祉サービスの利用促進等に努めます。	63	障がい福祉課	第2期桐生市自殺対策計画の進捗状況の確認。	R7			評価	C				
							R8			総評	第2期桐生市自殺対策計画を令和6年4月から令和11年3月までの5年間かけて実施。				
							R9								
							R10								
							R11								
			地域支え合い推進協議体（介護保険制度の生活支援整備事業）において、地域の生活課題を把握し、課題解決に向けた体制整備を図ります。	63	長寿介護課	桐生市全域に協議体を設置する。	R7	17	14	評価	B				
							R8	21		総評	新規に2か所の協議体が発足したが、目標の第2層17か所には届かなかった。				
							R9								
							R10								
						単位：設置数（一層を含む）	R11								
							R7	2	2	評価	A				
	②	社会福祉法人との連携	自立支援協議会において、地域の生活課題を把握し、課題解決に向けた体制整備を図ります。	63	障がい福祉課	桐生市地域自立支援協議会全体会の実施を行い、地域課題の抽出を行う	R8			総評	桐生市地域自立支援協議会全体会の開催を年2回行い、地域課題の抽出と協議を行うことができた。				
							R9								
							R10								
							R11								
						単位：回									

※目標値・実績値は数値化が可能なもののみ。

取組の方向性	No	取組	取組内容	該当ページ	担当課	事業の成果を表す主な指標	年度	目標値	実績値	桐生市	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
3-1 福祉人材の育	①	担い手の発掘・養成及び情報発信	各福祉分野の講座やセミナーを開催し、制度やサービスについての周知及び情報発信を行い、担い手の人材を発掘・育成します。	64	障がい福祉課	手話・点訳・朗読等の各種奉仕員や精神保健福祉ボランティアの養成人数	R7	30	37	評価	C				
							R8			総評	精神保健福祉講演会をみどり市と共同で開催。手話・点訳・朗読奉仕員養成のための講習会も開催した（要約筆記講習会は中止）。				
							R9								
							R10								
						単位：人	R11								
福祉教育の推進	①	学校教育との連携	こどものうちから地域福祉に関心を持ち、互いに支え合うことの大切さを理解できるよう、小・中・義務教育学校において福祉教育を推進します。	65	学校教育課	小・中・義務教育学校で福祉教育に取り組む。	R7	26	26	評価	A				
							R8	26		総評	小・中・義務教育学校で各教科等を通じて福祉教育に取り組んでいる。総合的な学習の時間に福祉に関する題材を設定したり、認知症サポートや介護体験を設定したりして学習することができた。				
							R9	26							
							R10	26							
							単位：校	R11	26						
			各学校や公民館で認知症サポーター養成講座を開催し、認知症に関する理解を深める取組を推進します。	65	長寿介護課	認知症サポーター養成数（累計）	R7	20,000	21,546	評価	A				
							R8	20,500		総評	目標の養成数を上回った。学校や店舗からの講座依頼もあり、世代を問わずに啓発することができた。				
							R9	21,000							
							R10	21,500							
							単位：養成人数	R11	22,000						
	②	体験学習機会の提供	子どものうちから手話に親しみ、障がい者理解の促進を図るため、市内小学校・義務教育学校の児童（4年生）を対象に「手話体験教室」を実施します。	66	障がい福祉課	小学校での手話体験教室の開催	R7	17	12	評価	B				
							R8	17		総評	市内小学校にて手話体験教室を行い、児童に対し手話を体験する機会の提供を行うことができた。				
							R9	17							
							R10	17							
							単位：校	R11	17						
福祉活動の推進	①	市民活動の推進	社会福祉協議会と連携し、各種市民活動やボランティア活動の情報を発信するとともに、地域で共有できるよう努めます。	67	地域づくり課	「ゆいねっと」の情報発信数	R7	140	97	評価	B				
							R8	160		総評	目標値には達しないものの、前年度よりは増加が見込まれ、配信する活動内容も現在のニーズに合わせたものに变化してきている。				
							R9	180							
							R10	180							
							単位：数	R11	180						
		活動状況の提供	福祉活動の種類や内容について、住民に広く情報提供を行い、福祉への関心を高めてもらえるよう努めます。	68	地域福祉課	広報きりゅう掲載回数	R7	100	52	評価	C				
							R8	100		総評	地域福祉課からのお知らせの広報きりゅうへの掲載回数は52回であった。民生委員や献血等の情報発信し、市民が福祉サービスを活用することができたが、さらに利用しやすくてきる発信内容が必要。				
							R9	100							
							R10	100							
							単位：数	R11	100						
			ボランティア活動の相談窓口（社会福祉協議会）の周知を行います。	68	地域福祉課	広報きりゅう掲載回数	R7	実施	実施	評価	B				
							R8	実施		総評	点字図書館（担当；社会福祉協議会）が実施する音訳・点訳ボランティアについて、広報きりゅうにて周知し、点訳1人の採用につながった。広報を利用してさらにボランティアを充実させたい。				
							R9	実施							
							R10	実施							
						単位：実施・未実施	R11	実施							

取組の方向性	No	取組	取組内容	該当ページ	担当課	事業の成果を表す主な指標	年度	目標値	実績値	桐生市	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
地域福祉推進のための協働	①	協働の場づくり	社会福祉協議会と連携し、地域ニーズに対応した各福祉施策の相談支援事業を継続、発展させます。	69	地域福祉課	地域づくり事業「もぐもぐのわ」の実利用世帯数（重複） 単位：世帯	R7	60	35	評価	C				
							R8	60		総評	R7から開始され年3回実施予定。1月末時点で2回実施、35世帯の生活相談と食料配付を実施し、相談に応じた適切な部署につなげた。				
							R9	60							
							R10	60							
							R11	60							
			地域共生社会実現に向け、関係機関と協働します。	69	地域福祉課	重層的支援体制整備事業の支援会議開催回数（重複） 単位：回	R7	10	8	評価	B				
							R8	11		総評	高齢、子育て、障がい、困窮、社会福祉協議会と、それぞれの分野のコーディネータが集まり支援会議を開催し、情報交換、対応策等の重層支援体制が進んだ。				
							R9	12							
							R10	13							
							R11	14							

※目標値・実績値は数値化が可能なもののみ。